



News Letter No.14

2025/3/12

目次

1. アクセンチュア マイナビから実務家講師(AI・データサイエンス総合).....	1
2. AI・データサイエンスの標準化の取り組み(AI・データサイエンス総合)	1
3. 開催報告:AI・データサイエンスセンターDSシンポジウム「データサイエンスによる社会変革」..	2
4. iDS中村ゼミ生が「ISFJ日本政策学生会議」で分科会賞 「WEST研究論文 発表会」で優秀賞と分科会賞受賞	3
5. iDS 飯尾ゼミ生が 2024 年度冬季 HCD 研究 発表会にてポスター発表	3
6. 侍ジャパンにも帯同の野球アナリスト・山田隼哉様が登壇(AI・データサイエンス演習)	4
7. 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 関東ブロック 産学連携交流会	4
8. ソフトバンク株式会社から実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合)	5
9. paiza ランクチャレンジ表彰式	5
10. iDS演習 成果報告会開催.....	6
11. 開催報告:2025年第1回イブニングセミナー	7
12. 所員	8

1. アクセンチュア マイナビから実務家講師(AI・データサイエンス総合)

2024年11月9日(土)に、株式会社マイナビ、アクセンチュア株式会社から講師をお招きし、前期・春学期同様に学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」の対面講義を実施しました。



株式会社マイナビ 高橋誠人編集長



アクセンチュア株式会社 巢山剛様

「AI・データ活用による課題解決に関する議論」と題した講義では、仮説思考について学んだ後に、個人ワークを経てグループで議論、発表しました

[リンク: AI・データサイエンス全学プログラム](#)



後楽園キャンパスの教室でグループワークを行う学生の様子



多摩キャンパス(サテライト会場)での様子

本講義はアクセンチュア株式会社のコーポレート・シチズンシップ(社会貢献活動)の一環として実施されました。

[リンク: 公式 WEB 新着ニュース](#)

2. AI・データサイエンスの標準化の取り組み(AI・データサイエンス総合)

2024年11月30日(土)に、株式会社KDDI総合研究所から福元徳広様をお招きし、前期・春学期同様に学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」の対面講義を実施しました。

「AI・データサイエンスの標準化の取り組み」と題した講義では、通信事業者の視点から課題解決に向けた AI・データサイエンスの活用事例や、実際にビジネスに導入する際に考慮すべき事項について講義いただきました。



株式会社 KDDI 総合研究所
福元徳広様



多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO 教室で行われた講義の様子



[リンク: 公式 WEB 新着ニュース](#)



後楽園キャンパス(サテライト会場)での様子

3.開催報告:AI・データサイエンスセンターDSシンポジウム 「データサイエンスによる社会変革」

2024年11月14日(木)に、後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、中央大学 AI・データサイエンスセンターと ELSI センターが共催する「AI・データサイエンスセンター DS シンポジウム」が開催されました。

今回のテーマは「データサイエンスによる社会変革」であり、学内外から有識者を招いて講演が行われました。

講演者(登壇順)

「センシング×データサイエンス」

[大草孝介](#) 理工学部・准教授

「産学官連携共同研究の取り組みと実情」

[鎌倉稔成](#) 研究開発機構・機構教授

「先進的マルチモーダル AI と AI ガバナンスの在り方」

[須藤修](#) 国際情報学部・教授/[ELSI センター](#) 所長

「AI による変革と産学官連携の挑戦:未来を拓く IT 企業の取り組み」

鈴木玲子様 [株式会社アイネス](#) 取締役執行役員

野沢泰雅様 [株式会社アイネス総合研究所](#)

参加者から多数の質問やコメントが寄せられ、情報交流会でも活発な意見交換が行われました。イベント全体が熱気に溢れ、次回の講演を期待する声が多数寄せられ、データサイエンスへの関心の高さが感じられました。

[リンク:中央大学 ELSI センター公式WEB新着ニュース](#)

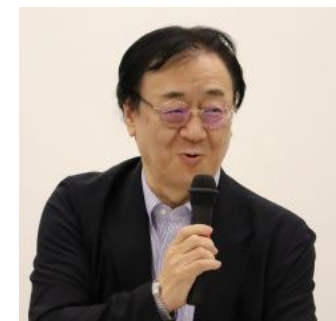
[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)



大草孝介 理工学部・准教授



鎌倉稔成 研究開発機構・機構教授



須藤修 国際情報学部・教授
(ELSI センター所長)



鈴木玲子様



野沢泰雅様



司会 生田目崇 理工学部・教授
(AI・データサイエンスセンター副所長)



開会挨拶 榎山和男 理工学部・教授
(AI・データサイエンスセンター所長)



情報交換会挨拶 河合久 学長



情報交換会

4.iDS中村ゼミ生が「ISFJ日本政策学生会議」で分科会賞「WEST研究論文 発表会」で優秀賞と分科会賞受賞

AI・データサイエンス演習(iDS 演習)中村ゼミ生(中村周史 総合政策学部・准教授)が、2つの全国規模の学外コンペで、優秀賞2つを含む複数の受賞を果たしました。

ISFJ日本政策学生会議 政策フォーラムにおいて分科会賞を受賞
(2024年11月30日(土)から12月1日(日)明治大学で開催)

[ISFJ日本政策学生会議](#)は松下政経塾が協賛・後援を行う団体であり、日本の未来を考える志高い学生たちの政策立案の支援と、政策の実現に向けた発表の機会を提供する目的で、2005年以降毎年、政策提言のための学生フォーラムを実施しています。



ISFJ 日本政策学生会議受賞メンバー



WEST 研究論文発表会受賞メンバー

WEST論文研究発表会 最終報告会において優秀賞(2組)と分科会賞を受賞
(2024年12月7日(土)から8日(日)に同志社大学で開催)

[WEST論文研究発表会](#)は、様々な社会問題に対して原因を実証的に明らかにし、その結果に基づいた実現可能性のある政策提言を行うことを目的としています

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

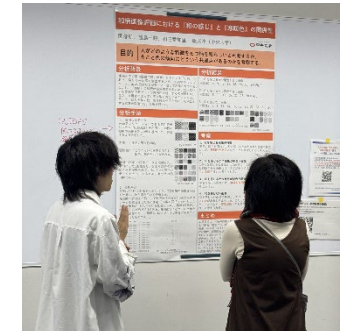
[リンク:総合政策学部公式WEB新着ニュース](#)

5.iDS 飯尾ゼミ生が 2024 年度冬季 HCD 研究 発表会にてポスター発表

2024年12月1日(日)に芝浦工業大学豊洲キャンパスにて開催された「2024年度冬季HCD研究発表会」において、AI・データサイエンス演習(iDS 演習)飯尾ゼミ生(飯尾淳 国際情報学部・教授)が2件のポスター発表を行いました。



広告画像における『好ましさ』と『ごちゃごちゃ感』の関係性
— 画像の印象評価システムを用いた調査に基づく分析 —



和柄画像評価における『和の感じ』と『寒暖色』の関係

ゼミ生らは、日頃のゼミでの研究活動成果をポスターセッションにて発表し、聴講者と積極的にディスカッションしました。

HCD研究発表会は、人間を中心として、人間の使いやすさを重視した設計(HCD:Human Centered Design)ユーザエクスペリエンス、ユーザビリティに関する研究成果が集う発表会です。

[リンク:2024年度冬季 HCD 研究発表会](#)

[リンク:特定非営利法人人間中心設計推進機構](#)

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

6.侍ジャパンにも帯同の野球アナリスト・山田隼哉様が登壇 (AI・データサイエンス演習)

2024年12月6日(金)「AI・データサイエンス演習(iD S演習)」(酒折文武 理工学部・准教授)に、[データスタジアム株式会社](#) 野球アナリスト 山田隼哉様をゲストスピーカーとしてお招きし、ご講演いただきました。

当日は山田様がジャーナリストを目指し勉学に励んでいた頃に、偶然データスタジアム株式会社の仕事に触れたこと、経歴やアナリストになってからの努力（猛勉強！）の紹介があり、野球に詳しくない学生へ配慮をしながら「野球分析の実践とトレンド」と題した講演にはいりました。



データスタジアム株式会社
野球アナリスト 山田隼哉様



山田様(右)と酒折先生(左)

侍ジャパンでの活動では、2023年WBCの裏話や今では誰もが知っている選手の当時の様子などを貴重な写真とともに紹介いただきました。海外で活躍する選手の増加により、分析結果にメートル法とマイル表示の併記が必要になるという話に、学生たちもうなずいていました。

アナリストの仕事を「説明(何が起きたか)」「予測(何が起こるか)」「指示(どうすれば良いか)」の3段階に分け、データの量や鮮度、信頼関係の重要性についても触れました。

学生からは「現場を知りキャリア形成に役立った」など多くの感想が寄せられ、大変有意義な時間となりました。

リンク:公式 WEB 新着ニュース

7.数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
 関東ブロック 産学連携交流会

2024年12月9日(月)東京大学
本郷キャンパスにて開催された数理
・データサイエンス・AI教育強化拠
点コンソーシアム「2024年度 関東
ブロック産学連携交流会」にてポス
ター発表を行いました。

今回の産学連携交流会は、初となる企業と大学の交流企画となりました。関東各地から20以上の企業に参加いただきフラッシュトークとポスターを通じて交流を深めました。

本学は、「AI・データサイエンス分野の産学連携」というテーマでポスター発表を行いました。

[リンク:数理・データサイエンス・AI
教育強化拠点コンソーシアム関東ブ
ロック](#)

AI・データサイエンス分野の 産学連携

AI and Data Science Center

中央大学

・AI・データサイエンスセンター社会連携の概要

教育	・学部教育の充実 ・新卒者の育成
研究・社会連携	・研究・社会連携研究 ・高度技術・専門研究 ・産学連携 ・セミナー・シンポジウム ・企業・大学・研究機関
事業・交流	・事業交流 ・サポーター・奨励金活動 ・社会貢献の推進 ・データの活用 ・研究・教育・社会人教育 ・各種イベント開催

・イベント支援：(事例) データサイエンスアイデアコンテスト

募集期間：2024年10月26日
2024年11月15日まで

※大学・学部・専攻・学年問わず参加可能

※大学・学部・専攻・学年を問わず参加可能

※関係大学、法政大学、中央大学の3大学共同による「データサイエンス・アイデアコンテスト」を全員の協賛により開催（2024年度7回目）

3大学が主催、開催・授賞式も参加

※大学の学部生を募集したチームが最終結果を決定し、授賞式に参加し、協賛企業との、学芸交流を促進する

・中央大学の紹介

8学部7研究科23専門系大学院
定員数：26,669名
入学生数：6,261名

都心キャンパス
（丸の内線 茗荷谷駅 徒歩10分）

多摩キャンパス
（京王線 多摩駅 徒歩10分）

文京キャンパス
（有明線 文京駅 徒歩10分）

沼津総合キャンパス
（東海道線 沼津駅 徒歩10分）

・2024年度4月卒業生就職

就職先：26,669名

就職先：26,669名

就職先：26,669名

・AI・データサイエンス分野の技術や知識を習得し、各所属大学の専門分野で活用する方を育成する

・データサイエンスプログラムの知と知能が「AI・データサイエンス」である

・3年次の学習（卒業後2025年度）で実施

・3年次の学習（卒業後2025年度）で実施

・3年次の学習（卒業後2025年度）で実施

・客員教員：(事例) AI・データサイエンス学会

・データサイエンスが社会でどのように活用されているのか、実例を通して学ぶ

・データサイエンスが社会でどのように活用されているのか、実例を通して学ぶ

・データサイエンスが社会でどのように活用されているのか、実例を通して学ぶ

・共同研究：(事例) 埼玉県工業株式会社

・共同研究により、AI・データサイエンス分野の技術や知識を習得し、各所属大学の専門分野で活用する方を育成する

・共同研究により、AI・データサイエンス分野の技術や知識を習得し、各所属大学の専門分野で活用する方を育成する

・共同研究により、AI・データサイエンス分野の技術や知識を習得し、各所属大学の専門分野で活用する方を育成する

（産学連携交流） 経済産業省関東経済産業局 数値・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 関東ブロック員 2024/12/16

8.ソフトバンク株式会社から実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合)

2024年12月21日(土)に、ソフトバンク株式会社から山下勝司様と荒哉太様をお招きし、前期・春学期同様に学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」の対面講義を実施しました。

「デジタルトランスフォーメーションの導入と開発に関する議論」では、山下様からDX導入におけるAIモデル開発のコスト削減として、公開データや合成データの活用、AIと人によるハイブリッドアノテーション作業の効率化に関する説明がありました。

荒様からは、画像分類や言語処理を含むAI技術が紹介され、画像分類のデモが行われました。さらに、製造ラインの不良品検知、フリマアプリの商品分類、コンクリートのひび割れ検出、医療分野の脳画像解析といった活用事例も紹介されました。



ソフトバンク株式会社
山下勝司様



ソフトバンク株式会社
荒哉太様



後楽園キャンパスでの
講義の様子

本講義コーディネーターの中村周史 総合政策学部・准教授からは、生成AIを適切に活用することで作業がスムーズになり、時間を有効に使えるようになるため、便利なツールを積極的に取り入れて活かしてほしいとのお話がありました。

9.paiza ランクチャレンジ表彰式

2025年1月10日(金)に後楽園キャンパスにて paiza ランクチャレンジの表彰式を開催しました。



表彰式に参加した上位受賞者の方々、中央大学高等学校の先生、AI・データサイエンスセンター所長・副所長

表彰式当日は、受賞者一人ひとりに賞状を授与し、各賞(トロフィー賞とランク賞)ごとに記念撮影を行いました。最後に両賞の全員で集合写真を撮影し、その後は懇談を行いました。懇談の場では、受賞した大学生や中央大学高等学校の高校生からコメントをいただき、親睦を深める中で会場は活気にあふれ、大変盛況な会となりました。

今回は、大学生11名、高校生14名が参加し、その中で両賞を受賞したのは6名でした。参加者にとって意義深い時間となり、今後のプログラミング学習への期待が高まる場となりました。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

10.iDS演習 成果報告会開催

2025年1月28日(火)に、市ヶ谷田町キャンパスにて AI・データサイエンス演習(iDS 演習)の成果報告会が開催されました。

iDS 演習の4つのゼミに所属する学生が、1年間の活動成果を口頭9件、ポスター15件で発表しました。各ゼミから選ばれた実行委員が集まり、報告会の計画、企画運営も学生が主体となり運営しました。



口頭発表の様子



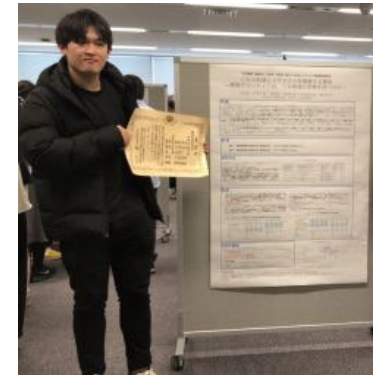
ポスター発表の様子



iDS 演習は2年次から4年次までの3年間にわたるゼミ活動を行う授業で、開講から3年が経過した今年度は初めて全学年が揃う成果報告会となりました。

これまでの活動の積み重ねにより、各種コンペでの受賞や学外団体との連携など、取り組みの幅が広がり、今回の報告会ではこれまで以上に活発な質疑応答が展開されました。

また、昨年10月に「[統計データ分析コンペティション 2024](#)」において審査員奨励賞を受賞した安野ゼミの4年生が、主催者から届いた賞状と共に写真撮影を行いました。



受賞した安野ゼミ4年生

発表後の交流会でも、異なるゼミの学生同士が積極的に意見を交わし、有意義な時間となりました。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

11.開催報告:2025年第1回イブニングセミナー

2025年1月29日(水)に後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、統計家であり中央大学客員教授の西内啓様が「今こそ知りたい 企業がAIを活用する勘所」というテーマで、会場とオンライン参加者(合わせて約200名)に向けて講演を行いました。

講演は、西内様が高校時代から人間理解に関心を持ち、研究を進める中で心理学や経済学など多くの分野で統計学が広く活用されていることに気づいた経緯から語られました。

続いて「企業における AI システム開発の理想」と現実の問題点、問題解決に向けた業務分析や「AI 化すべきかどうか」のチェックリストなどが、事例をもとにわかりやすく紹介されました。



冒頭の自己紹介



講演の様子

AI・データサイエンスセンターは今後のミッションとして、産業界との共同研究やリカレント教育を含む社会貢献事業を推進し、データ活用の課題解決や人材育成を支援していきたいとまとめられました。

講演後には活発な質疑応答が行われ、参加者からは具体的な実務への応用や課題解決のヒントを求める声が多く寄せられました。続く情報交換会でも交流が広がり、終始活気に満ちた雰囲気の中、盛況のうちに終了しました



質疑応答の様子



情報交換会の様子

西内 啓

統計家。多数の講演、ビジネス分野でのコンサルティング実績を有する。『統計学が最強の学問である』(ダイヤモンド社)の著者としても有名。中央大学客員教授、中央大学 AI・データサイエンスセンター客員所員

[株式会社ソウジョウデータ](#) 代表取締役

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[KAKEN:科学研究費助成事業データベース](#)

12. 所員

AI・データサイエンスセンター 所員

専任所員数 68

客員所員数 7

(2025.3.12 当日予定)

所属別 専任所員内訳

所員一覧は、[こちらのリンク\(オリジナルサイト「所員紹介」\)](#)をご覧ください



中央大学 AI・データサイエンスセンター
ニュースレター No.14

発行日:2025 年 3 月 17 日発行

発行所:中央大学 AI・データサイエンスセンター事務室
〒112-8551東京都文京区春日1-13-27
ai-and-ds-grp@g.chuo-u.ac.jp
https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/

表紙:中央大学理工学部写真会
<https://www.instagram.com/chuophotoclub/>
令和6年度中央理工白門祭
理工学部写真会学祭展より
題 名:豪華絢爛
撮影者:林龍之介さん(多摩キャンパス3年)